

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点			
1	① E		各 3 × 5	15		
	② B					
	③ A					
	④ C					
	⑤ D					
2	A 肢体不自由		各 4 × 3	44		
	B 内部障害					
	C 視覚障害					
	(1)	ICIDHが身体機能の障害による生活機能の障害(社会的不利)を分類するという考え方が中心であったのに対し、ICFは生活機能というプラス面からみるよう視点を転換し、さらに環境因子という観点を加え、例えばバリアフリー等の環境を評価できるように構成されていることが特徴である。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。		10	
	(2)	① 身体構造	③・④の順序は問わない。		各 3 × 4	
		② 活動				
		③ 環境				
		④ 個人				
	3	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 心臓機能障害 腎臓機能障害 呼吸器機能障害 膀胱・直腸機能障害 小腸機能障害 ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害 肝臓機能障害 		5つ書かれていればよい。 順序は問わない。 ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害は、免疫機能障害 もよい。	5
		(2)	<ul style="list-style-type: none"> 外見からは障害がわからない。 急な症状の悪化や発作をおこす人が多い。 社会生活が制限される。 心理的に不安定になりやすい。 		1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
3	1	① 意図的な感情表出の原則		各 4 × 4		
		② 統制された情緒的関与の原則				
		③ 非審判的態度の原則				
		④ 受容の原則				
	2	理学療法士	一人で立ち上がったたり、車いすへの不安を強く感じているため、立ち上がりや歩行訓練を行う。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 3	
		管理栄養士	食欲の減少がみられるAさんの栄養バランスを考えた食事の提供を行う。			
		介護支援専門員	Aさんの状況を把握し、ケアプランの再考やサービス担当者との連絡調整を行う。			

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点	
4	①	訪問介護	ホームヘルプサービス, ホームヘルプ もよい。	各 4 × 5	20
	②	通所リハビリテーション	デイケア もよい。		
	③	認知症対応型共同生活介護	グループホーム もよい。		
	④	小規模多機能型居宅介護			
	⑤	短期入所生活介護	ショートステイ もよい。		
5	2次の目標	実習施設における個人情報の取り扱いについて考え、表現できる。	2次の目標, 学習活動, 学習活動を設定した理由がすべて対応しているものだけを正答とする。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。	20	
	学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標の確認をする。 実際の実習を想定したロールプレイを行うため利用者, 実習施設職員, 家族, 実習生2人という役割を決める。 一連の実習の流れの中で個人情報漏洩の危険がある場面について, ロールプレイを行う。 ロールプレイ後は, 何が個人情報にあたるのか, どのような行為が違反となるのか個人で考えワークシートに記入する。 その後は, グループで実習施設における個人情報保護の取り扱い方について話し合う。 具体的にまとめ, ワークシートに要点を記入する。 最後にグループで考えた内容を発表し, クラス全体で共有する。 本時の振り返りを行う。 			
	学習活動を設定した理由	生徒の習得状況において, 基礎的事項をおおむね理解しているので2次では, 介護実習の現場における実際の個人情報の取り扱いを課題とする。実際の介護の現場を想定した実演をさせることで, 介護記録や実習生の会話, SNSの使用など身近にある個人情報について気付かせ, 介護従事者としての立場でその取り扱いの重要性を理解させる。様々な意見を取り入れながら, まとめを発表させ, 3次の個人情報を意識した実習の在り方につなげていけるような学習活動とした。			
6	1	上るとき	杖 → 健側の足 → 患側の足	各 3 × 2	
		下りるとき	杖 → 患側の足 → 健側の足		
6	2	<p>以下の4つの動作をとるよう気を付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支持基底面積を広くとるように足を開いて立つ。 重心を低くするため, できるだけ背を真っすぐにし, 膝を曲げる。 対象に近づくためにからだを箱に近づける。 上肢の筋肉だけでなく, 下肢の大きい筋群を使い持ち上げる。 	内容を正しくとらえていれば, 表現は異なっていてよい。	12	18

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
7	① 真皮	エクリン腺 もよい。 アポクリン腺 もよい。	各 3 × 4	
	② 皮下組織			
	③ エクリン汗腺			
	④ アポクリン汗腺			
	2	① (ア)		各 2 × 3
		② (カ)		
		③ (工)		
	3	ア 温熱作用		各 3 × 3
		イ 静水圧作用		
		ウ 浮力作用		
	4	① 皮膚		各 3 × 3
		② 炎症		
		③ 糖尿病		
8	福祉用具と介護ロボットの意義や活用について扱うこと。また、福祉用具と介護ロボットの活用がサービス利用者の生活を豊かにすることについても扱うこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	16	